

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		菜の花育成事業					
事業の概要		<p>大気汚染や水質汚濁等に代表される環境問題は全地球規模の問題であり、その解決に向けた生活を実践するために地域住民の意識改革が急務である。環境問題に取り組む場を身近に提供することにより、自然環境の保全・リサイクル・ごみの減量化について理解を深める必要がある。</p> <p>本取り組みを通じ、菜の花・廃食用油のみならず日常生活全般にわたり、自然を保護し育む意識、消費財の節減・リサイクルへの意識等、今日の地球規模での環境問題に対する意識の浸透を図り、循環型社会の確立を目指すものである。</p>					
		事業期間	平成18年度				
		総事業費	579	本年度事業費	579	交付金交付額	244
事業評価	事業の必要性	大気汚染や水質汚濁等に代表される環境問題は全地球規模の問題であり、その解決に向けた生活を実践するために地域住民の意識改革が急務である。環境問題に取り組む場を身近に提供することにより、自然環境の保全・リサイクル・ごみの減量化について理解を深める必要がある。					
	事業の有効性	大量消費社会の弊害ともいえる地球環境の急激な変化は既に現実のものとなり、我々に多くの悪影響と将来への不安を突きつけている。これらの問題は日々確実に進行しており既に一刻の猶予も許されない状況になっている。本事業はこのような現在の状況に対し、将来への持続可能な社会を構築するための第一歩としての意義を持つものである。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 住民自身がリサイクル活動に取り組むことで、使用後も安易に捨てることなく再利用するという循環型社会のモデルケースを体験してもらい、各個人が物の有効利用、廃棄物の減量化について考え、環境保全をより身近に感じる契機となる。					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果 本取り組みを通じ、菜の花・廃食用油のみならず日常生活全般にわたり、自然を保護し育む意識、消費財の節減・リサイクルへの意識等、今日の地球規模での環境問題に対する意識の浸透を図るものとなる。					
5 行財政改革に資する成果 住民自らが資源循環にかかる具体的な活動を行うことで、自然環境保全の重要性を効率的に啓蒙・普及することができる。 また、資源の循環はごみの減量化につながり、廃棄物処理費用の削減に資するものとなる。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。